



■表紙の写真

中江家を継いだ藤樹先生の三男で、常省先生と慕われた弥三郎をしのぶ常省祭が、7月23日(水)藤樹書院で行われました。今年は没後300年と藤樹先生生誕400年祭とが重なり、例年にない多くの方が参列しました。講書終了後には、安曇川公民館教室の「楽しく学ぼう、親子マナー教室」に通う小学1年生から中学2年生までの男女6人が、袴や浴衣姿で抹茶の接待を行いました。大暑を迎え厳しい暑さの中、子どもたちのさわやかな接待に、しばし暑さも忘れ、参列者からは笑みがこぼれていました。

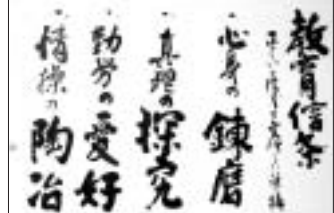
- 2-5 お知らせ拡大版
- 6-7 みんなで子育て、親育ち！
地域で子育て、親育て！
- 8 いきいき元気生活
- 9 防災・消防情報
- 10 警察・交通事故発生状況・消費生活相談
- 11-13 情報お知らせ版
- 14 藤樹先生生誕400年祭関連事業
- 14-15 文化情報
- 16 輝け！おらが学校、藤樹先生の逸話



湖西中学校では「心豊かで、たくましく生きる生徒の育成」を教育目標に掲げ、学校・家庭・地域が連携して、さまざまな教育活動を展開しています。生徒は「はっさり」「やさしく」「元気に」を合い言葉に、「規律ある『学校』『友を大切に』『合校』『いきいきとした『楽校』』の創造に努力しています。

キャリア教育の充実

「よりよく生き、社会に貢献できる自分さがしの旅を」
本校では清水安三先生の「学而事人(※1)」「せん方尽くれども望み失わず(※2)」の精神を学ぶことを通じて、自分の生き方をしっかりと考える学習を進めています。清水先生の足跡をたどり「近江兄弟社学園」を訪問する「志学の旅」、市内の事業所での職場体験、



▲書 川原林 徳一さん

ふるさと学の充実

ふるさと新旭の教育環境を生かした活動「地域学」を展開しています。地域の先哲に学ぶ「道徳の授業」や「総合的な学習の時間」では、外部講師から生き方や地域の展望について学習しています。また、地域に役立つ中学生を目指し、清掃や地域行事のお手伝いなどのボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。



みずみずしい感性を高め豊かな心を育む感動体験活動

自然の中で自己を鍛え、心身のたくましさを培うため、1年生では、蓬萊山を登る自然体験活動を行っています。2年生になると、能登少年自然の家を利用して、2泊3日の自然教室で、カッター漕ぎやオリエンテーリングなどに取り組んでいます。10月には「自己に挑戦する」という目的で全校マラソン大会を実施しています。男子6



キ口、女子4キロの琵琶湖岸コースを走り抜け、ゴールした生徒の顔は達成感・充実感でいっぱいです。
このような取り組みを通して、仲間を大切にしながら、自ら考え活動する学校づくりを進めていきます。
※1学んで人につかえる(学んだことを他人のために役立てる)
※2どんなことがあっても希望を失ってはならない

【お知らせ】
輝け！おらが学校は、今月号の湖西中学校をもって最終回です。

湖西中学校のデータ
学級数・生徒数：14学級・376人
所在地：高島市新旭町北畑564-2 ☎(25)2271

藤樹先生の逸話⑤ 出張講釈
藤樹先生は、近郷の人たちの求めに応じて、しばしば出張して、「孝経」や「論語」などの講釈をされました。
ある日、美濃国(岐阜県)に住む二人の目の不自由な人が、就職のために京都へむかう途中、琵琶湖のほとりの旅館に泊まりました。その日の夜、たまたま隣りの家で先生の講釈がありました。そこで彼らは、壁をへだててじっと聴き入っていたところ、心打たれるものを感じ、京都へ行くことを止め、直ちに小川村を訪ねて先生の門人となりました。

【解説】
琵琶湖のほとりとは、おそらく海津村と思われる。先生の門人に海津村の中村重兵衛がいました。先生は船に乗って講釈に出かけたのでしよう。(マキノ町白谷、大村進氏談)